

炭疽病に強い茶早生新品種「さいのみどり」

狭山茶の有利販売のため、寒さに強く高品質な早生品種の育成を進め、「さいのみどり」が、早生の優れた茶品種として品種登録されました。

摘採期は、「やぶきた」より約2日早く「さやまかおり」並です。また、主要病害の炭疽病には「さやまかおり」より強く、殺菌剤の散布が省略できます。品質は「やぶきた」並みに高く、すっきりした味と香りが特徴です。

これは、農林水産省委託の茶育種指定試験事業による成果です。

さやまかおり ———— さいのみどり
(親品種) 自然交配実生
(1966年)

「さやまかおり」の自然交配実生から選抜されました。

(平成15年9月5日品種登録:茶農林50号)

「さやまかおり」と同じ摘採期ですが葉色は「やぶきた」に近い緑色です。



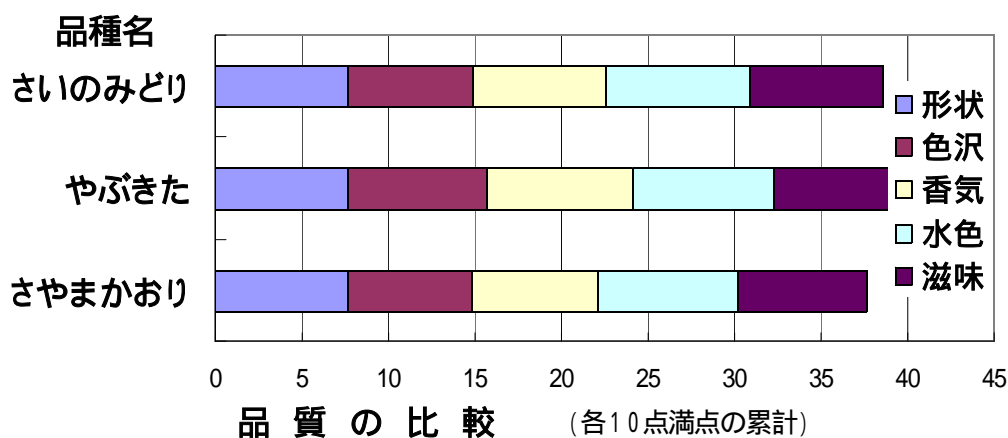
「さいのみどり」の新芽(中央)

「さいのみどり」の特性

項目 品種	早晩性	耐寒性		耐病虫性		一番茶収量 (対やぶきた%)
	(対やぶきた日)	赤枯	青枯	炭疽病	クワシロカイガラムシ	
さいのみどり	2日早い					106%
やぶきた	0日				×	100%
さやまかおり	2日早い					131%

耐寒性と対病害虫性 ×:弱 :やや弱 :中 :やや強 :強

早生で「やぶきた」並の耐寒性があり、炭疽病とクワシロカイガラムシに抵抗性があります。



(茶業特産研究所 特産営農担当 TEL 04-2936-1351)